

コロナ禍における生活困窮者支援に関する座談会2021

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、経済的打撃はこれまで平穏だった多くの市民を困窮者に陥れ、全国的にも生活福祉資金をはじめとする貸付相談や住居確保給付金等への相談が伸び、誰もが困窮者に陥る社会で過ごすことの実態が浮き彫りとなりました。支援者も、今もなお先の見えない相談支援を行っている実態があり、今後支援者へのフォローも必要と言われています。

そこで、本座談会は、コロナ禍における生活困窮者支援をテーマとして、日々取組まれている会員の活動を知ることを通して、ウィズコロナ/アフターコロナに向けたソーシャルワーク実践について、参加者の皆様と共に考える機会として開催致します。

I 日 時 令和3年11月20日（土）10時00分～12時00分

II 場 所 ①会場開催：社会福祉総合センター 4階 視聴覚室

（札幌市中央区大通西19丁目1番1号）

② Zoom 開催：事前に参加費の振り込み方法と開催 URL 及び
パスコードをメールにてお伝えします。

III 内 容

時間	内容
10:00～10:10	主催挨拶 オリエンテーション
10:10～10:30	報告1 「コロナ禍における若者の現状について」 報告者 北海道医療大学 講師 近藤尚也 氏
10:30～10:50	報告2 「コロナ禍における社会福祉協議会の取り組み～緊急小口資金等の特例貸付を中心に」 報告者 社会福祉法人石狩市社会福祉協議会 山崎智美 氏
10:50～11:00	休憩
11:00～11:20	報告3 「コロナ禍における生活困窮者自立相談支援機関の取り組み～住居確保給付金を中心に」 報告者 NPO法人しりべし圏域総合支援センター 吉村寿人 氏
11:20～11:40	報告4 「コロナ禍における生活保護行政の現状について」 報告者 札幌市東区役所 出町勇人 氏
11:40～12:00	まとめ・閉会挨拶

V 費 用 本会会員 無料。非会員 500円

VI 申込方法：令和3年11月12日(金)までに別紙の申込用紙に必要事項を記入しメールに添付し送信してください。

※会場の駐車場が狭いので、公共交通機関か近隣の有料駐車場をご利用ください。

注①：会場開催に参加される方は、当日朝に体温の測定をお願いします。発熱・のどの痛み、倦怠感等の症状がある方は参加をご遠慮ください。

注②：新型コロナウイルス感染拡大により会場が使用できない場合にはオンライン開催のみになります。

申込先 E-mail:toropyton@nifty.com

※必要事項を記載の上、上記 E-mail 宛てに、申込用紙を添付して送信してください。

※メールの件名には「生活困窮座談会申込」と表記してください。

(公) 北海道社会福祉士会道央地区支部 コロナ禍における生活困窮者支援に関する座談会2021申込用紙

フリガナ 参加者氏名	参加方法 (会場又はZoom)	職種	会員種別 (会員又は非会員)	会員番号	
所属【勤務先】	住所				
	名称				
	電話番号				
	E メール				
	※Zoom 開催参加の方には、記載いただきました E-mail 宛てに、後ほど参加費の振込方法や開催 URL 及びパスコードをお送りいたします。				
	※記載いただきました連絡先は今後研修案内等の際に使用させていただきます。				

本研修についての問い合わせ

北海道社会福祉士会道央地区支部 担当:吉村幹事 TEL: 0135-48-6227

(他業務も行っていますので、日中の時間帯に限りご連絡お願いします。後程折り返しにお時間をいただきます。)